



# 清流だより

第13号

令和2年7月15日発行

もっと  
南木曽を元気に!

日々の活動の様子は  
「向井ひろあきブログ」  
「町HP 町長の部屋」で  
発信中 ⇒



【討議資料】

発行責任者: 向井ひろあき後援会 木村左右和  
連絡先: 南木曽町読書2740-2 電話 0264(57)2475

## 意欲を持って2期目をスタート

4月14日告示の南木曽町長選挙では「向井ひろあき」以外に立候補届け出が無く、無投票で当選が確定しました。5月12日には2期目の初登庁を行い、気持ちも新たに2期目をスタートしました。

本来であれば6月定例議会で所信表明を行った後に具体的な取り組みを進めていくべきところですが、コロナ禍の状況を踏まえ、異例となる臨時議会を同日に招集して新型コロナウイルス対策関連予算を上程しました。

今後とも会員一同力をあわせて、元気な南木曽町をめざしてがんばっていきます。



爽やかな天気のもと 2期目の初登庁

5月臨時議会の新型コロナウイルス対策では、商品券給付事業(注1)と休業要請継続への協力金ならびに県事業対象外事業者への支援金といった町独自施策費用を盛り込んだほか、国の定額給付金(注2)などの経費を計上しました。今後とも感染予防、事業者支援、第2波対応や新たな生活スタイルの定着など必要な対策を進めていきます。

6月12日の定例会では、人口減少対策として「若者が住みたい町」「一人一人が健康で幸せな町」「(人も経済も)元気あふれる町」を大きな柱とする所信表明演説(注3)を行い、本格的な活動や各種施策に取り組み始めました。

(注1) 5月配布の商品券の利用期限は7月末日です。期限内の利用をお忘れなくお願いします。  
(注2) 一人10万円の給付金は、皆様のご協力により手続き開始後の1か月で95%以上の給付率になりました。  
(注3) 所信表明演説の全文は、広報紙「なごそ」議会だより7月20日発行号に掲載されていますので是非ご覧ください。



報告会での万歳、隣は青山中津川市長



遊説カーの前でおいさつ



妻籠地区で皆さんと

朝の通勤時に  
手を振りました



今回も朝の辻立ちを19号沿い各所で行いました。

4月14日の告示日は晴天に恵まれた中を町内全域に遊説活動をしました。出発式には多くの方が見送りに来てくださったほか、各地区でも暖かくお出迎えをして頂きました。

報告会も新型コロナウイルス対策のために屋外で実施。青山中津川市長はじめ心温まる激励の言葉をかけて頂いて、これからの町づくりへの決意を新たに、皆さんと気持ちをひとつにしました。



田立地区でバチリ

新型コロナウイルスの影響により後援会活動も大幅に制限される中、後援会事務所開きに始まり、朝の通勤途中に手を振って下さった皆様、街頭宣伝に耳を傾けて頂いた皆様はじめ、大勢の皆さまのお力添えの賜が結果となりました。皆様の期待に沿えるよう引き続き「もっと南木曽を元気に」するべく活動を続けていきますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。(事務局)

\* 法律の定めにより選挙後のお礼等には制限があります。何卒ご理解をお願い致します。

《裏面もご覧ください》

※最近の新聞報道からの写しです。  
参考にご覧ください。

南木曾町長選再選の向井さんに聞く

十四日告示の南木曾町長選は、現職の向井裕明さん（左）が無投票で再選を果たした。リニア中央新幹線の七年後の開通に向けた町の活性化策や人口減少への対応、都市部との連携事業などについて向井さんに聞いた。（中田弦）

リニア開業へ生活基盤つくる

― 初当選した前回に続く無投票当選となった

（立候補者が出ないのは）先行きが分からず町の状態を厳しいと町民が認識していることの表れ。だからこそ頑張らなくてはいけない。皆さんの意見を聞きながら、目に見えた効果が出るような策を考えなくてはならない。

― 町南部を通過するリニア中央新幹線について

― 基礎をつくる。人の流入を見込んで、テレワークやコワーキングなどを取り入れ、南木曾での新しいビジネスモデルを提案していきたい。

― 名城大（名古屋市）と連携協定を結んだり、愛知、岐阜県の自治体との「屋簷連携事業」が立ち上がったりと、都市部との連携が強まっている

二期目の意気込みを 開業に向けて準備しなくては  
まず一つは子育てと教育の はいけない。とにかく生活の  
中京圏とのつながりは大切に

したい。ウッドスタートやふるさと納税などで木工品の需要が都市部にはあるが、町に作り手がないのが課題。人が働くことの支援をしないと、いけない。



4月15日 中日新聞

人口対策最重要課題に

向井町長 2期目の所信表明

**南木曾** 4月の町  
長選挙で無  
投票率過された南木曾  
町の向井裕明町長は12  
日、町議会6月定例会  
の立て直しに「迅速的  
ルレレビ網を活用し  
確」に対応する決意を  
示した上で、人口減少  
対策を二期目の「最重  
の整備に意欲を示し  
た。

冒頭で、2期目の所信表明をした。新型コロナウイルスの影響を受けた町民の生活や経済に加え「結婚したばかり、子育て・教育支援を求めている」と「若者が住みたい」と「医療体制の維持に力を入れ、地元開業医との連携を強化し、救急を支えるドクターヘリのヘリポート整備も進めるとした。1期目からのキャッチフレーズ「もつと南木曾を元気に」を引き続き掲げて「精いっぱい取り組む」とし、町議会、職員、町民の協力を求めた。



4月15日 市民タイムス

サッカーの審判経験糧に

宮林審判員だった父親の転勤に伴い、小学生時代は3回転校した。「だから余計にふるさとに対する思いが強くなったのかも知れない」。旧關小を卒業し、南木曾中、蘇南高と進み、明治大卒業後に迷わず地元に戻り町職員となった。平成の大合併で自立の道を選んだ町の元氣を取り戻そうと、課長を辞して平成28年の前回選に初出馬した。

180センチの長身で中学、高校とサッカーに打ち込み、ゴールキーパーを担った。社会人となってからは審判も務める。イタリアの有名サッカー審判員、ピエルイジ・コッリーナさんに刺

多忙でなかなかグラウンドに立てないが、毎朝40分のジョギングを欠かさず、体重72キログラムのスリムな体形を維持する。イタリアの有名サッカー審判員、ピエルイジ・コッリーナさんに刺

多忙でなかなかグラウンドに立てないが、毎朝40分のジョギングを欠かさず、体重72キログラムのスリムな体形を維持する。イタリアの有名サッカー審判員、ピエルイジ・コッリーナさんに刺

新型コロナウイルス対策・災害への備え・熱中症予防・獣対策等、くれぐれもご用心いただきお過ごしください。

向井・南木曾町長  
2期目の初登庁

「町民の負担に応える」  
4月14日告示の南木曾町長  
選で無投票で再選した向井裕  
明町長(60)が12日、町役場に  
2期目の初登壇をした。マス  
3点を意識して業務をしては  
精いっぱい務める」とあいさ  
つ。職員らに「引き続き、住  
民の話を聞く、地域に関わる  
できることはすぐにやる」の  
3点を意識して業務をしては



しい」と求めた。

新型コロナウイルス対策などにより、生活が苦しくなったり、不安を抱えたりする町民が大勢いるとし、「こういう時こそ、公務員が力を台わせてやるべきことをやらないといけない」と述べた。

新型コロナウイルス対策でマスコを始めて初登庁をする向井町長

5月13日 信濃每日新聞